

## 事業完了報告書（川崎市）

### 調査研究期間等

調査研究期間	令和5年6月2日 ～ 令和6年3月7日
調査研究事項	IV. その他夜間中学における教育活動充実に関すること 【研究テーマ】 ・生徒一人一人の状況に応じた学習指導の充実について
調査研究のねらい	<p>○川崎市立西中原中学校夜間学級は、外国につながるのある者や既卒者による入学希望者が年々増加している。今後は入学希望者のニーズも一層多様化することが予測されることから、入学希望者が求める学びについて十分に確認し、必要な支援や多様な教育機会を提供することができるような工夫が必要である。そのため、入学前の見学や体験入学など夜間学級と教育委員会が連携して進めることが重要であり、その在り方について研究を進めていきたい。</p> <p>○夜間学級に通学している生徒は、日本だけでなくフィリピン、中国、インド、ネパール、ベトナム等の多様な国籍を持つ生徒が在籍の多くを占めるほか、10代から60代の幅広い年齢層の生徒が在籍している。小学校、中学校と不登校の形式卒業者も在籍している。そのため、国語や算数・数学等の基礎的・基本的な学習内容の相違が大きく、日本語を含め、生徒の個々に応じた指導が必要である。生徒の状況に合わせた教材の在り方について研究し、生徒の資質・能力の育成を図りたい。</p> <p>また、体育祭や文化祭などの学校行事など人との関わりを通して、多文化共生について学ぶ機会や日本の伝統的な文化等に触れる機会を設け、多様な文化に対する理解を深めたり、教養を身に付けたりすることをねらいとした。</p>
調査研究の成果	○近年、外国につながるのある者や既卒者による入学希望者が年々増加している傾向があり、個々の学習に対してのニーズを適切に把握することが必要である。そのため、入学希望者に教育委員会による事前相談や面談で学習状況等を聴き取り、西中原中学校夜間学級と情報共有を行った。また、夜間学級で入学前に体験入学を必ず行い、個々の状況を把握し教育委員会と情報を共有した。見学、体験では、入学希望者が夜間学級のねらいや入学後の学習が十分に理解できるように丁寧に対応すると

	<p>ともに学校が個々の学習の状況を把握できるように、実際に生徒が使用している教材を用いての授業を行った。それぞれの面談、体験入学での学習状況等から、夜間学級と教育委員会と一緒に協議を行い、個々に応じた入学後のカリキュラム編成等について検討し多様な教育機会を図った。</p> <p>○日本語の習得状況が十分でない生徒に対して、日本語能力の向上を図るために、どのような指導が適切であるかについて夜間学級と教育委員会が連携し、夜間学級の教職員を対象に教育委員会教育政策室の人権・多文化共生教育担当指導主事などが講師として、日本語指導研修を定期的実施し、日本語教育への理解を深め指導の向上を図った。</p> <p>○既卒者を含む入学者の学習については事前相談や面接を通して、学歴や生い立ちを把握し、個々に応じたカリキュラム編成した。定期的に夜間学級担当職員による指導事例検討会を実施し、多様な授業展開を探り、生徒の資質・能力の育成のための学習指導方法の改善を図った。</p> <p>○生徒の教材については、日本語指導研修講師や指導主事等が授業参観に参加したり、指導事例検討会を実施したりしながら個々の学習に応じた教材の検討・協議を行った。生徒の資質・能力の育成や学習の定着を目指し、教材(購入教材)を使用し、またそれを基に自主教材を作成した。日本語によって日本語を指導する直接法を研究するため絵のカード、個に応じた学習課題を作成し学習の定着を図るための小学校の内容を含む各学年の学習ドリル、家庭学習で活用できるプリント等の用紙は、一人一人の日本語の能力に応じて対応するために必須である。令和5年度の学習指導においては、それらの学習指導に有効に活用できた。</p> <p>○生徒たちが多様性を認めながら社会性を身に付けていくために一人一人のニーズに応じたきめ細やかな支援体制を構築し、その研修内容や実践事例を「委託事業成果報告書」にまとめ、今年度の成果と今後の課題について、学校全体や所管する教育委員会の各部署と共有した。</p> <p>○さまざまな国につながるのがある生徒が、現在生活している日本の文化を理解するために、講師を招聘しての書道教室、陶芸教室、教科と関連させてもちつき大会等を行い、伝統文化や日本の年中行事に触れる機会を設けた。また、文化祭等で自分の国</p>
--	---

	<p>を紹介する場面を設け、様々な国の文化を知り理解をすることで、多文化共生への理解を深めることができた。</p> <p>○西中原中学校の夜間学級についてのポスター、チラシを多言語で作成し、区役所等で掲載、配布を行っている。教育の機会が必要な者へ夜間学級の情報が伝わるために、ポスター、チラシの在り方についても検討を行った。また、教育委員会、学校ホームページ、市政だより等で夜間学級についての広報を行い、年間を通して、夜間学級での生徒の受け入れを行うことができた。今後も多様な生徒の状況に応じた学習内容や学習形態についての学習指導が充実するよう検討していきたい。</p>
--	---